



川崎市

国際交流センターだより

平成21年9月号



♪坂田明トリオ ジャズコンサート♪

10月17日(土)午後2時～4時 (開場1時半)

- 《入場料》 2,000円 (小学生以上、乳幼児のご入場はご遠慮ください。)
 《申込》 往復はがきのみ(下記の必要事項を明記) ★9月15日(火)必着★ (1人1枚の応募)
 ①氏名(ふりがな) ②住所 ③日中に連絡が取れる電話番号 ④希望枚数(1枚/2枚)
 《場所》 川崎市国際交流センター・ホール
 《定員》 230名(応募多数の場合は抽選)
 《支払方法》 当選通知に詳細を記載。事前に一括振込み(郵便局)
 《出演者》
 ●坂田明(サクソ・右写真)
 1969年以来、様々なグループの結成、解体を繰り返しながら音楽シーンの最前線を走る。ミジコ研究でも有名。日本チェルノブイリ連帯基金のためのCDが話題を集めている。
 ●黒田京子(ピアノ)
 ジャズピアニストとしての活動のほか、ジャズ講師、プロデュースなど広く活躍中。
 ●水谷浩章(ベース)
 独自のスタイルで、幅広い音楽性とグループには定評がある。様々なユニットに参加。



(財)川崎市国際交流協会 設立20周年記念コンサート

- ♪日時: 11月21日(土) 午後3時～5時
 ♪場所: 麻生市民館ホール(小田急線新百合ヶ丘駅北口より徒歩5分・川崎市麻生区万福寺1-5-2)
 ♪対象: 川崎市内在住・在勤・在学の方(小学生以上) 定員 1000人
 ♪申込: 往復はがきで①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号 ④希望枚数(2枚まで)記入。
 ♪10月15日(木)消印有効♪ (1人1枚の応募に限る)

入場無料

<第1部> 総合司会 小澤幹雄氏
 映像でみる国際交流協会の活動
 ・協会設立20周年挨拶、祝辞
 ・協会活動紹介映像の上映



<第2部>
 世界で活躍する
 アーティストの共演
 ～音楽の楽しさ～
 ・Jisong (ヴォーカル)
 ・アントニーン・キューネル (指揮者)
 ・山岸 宜公 (チェロ)

<第3部>
 世界的アーティストによる
 演奏とトーク
 ～音楽の素晴らしさ～
 ・アテフ・ハリム(ヴァイオリン)
 ・伊藤 めぐみ(ピアノ)



◆◆◆ 中国語による国際理解講座 ◆◆◆ 中上級対象 (中国語による講義と交流・Q&A、通訳なし)

募集中!!

- ※日時: 10月4日、18日、11月8日(日曜日) 午後2時～4時
 ※定員: 40名(抽選) ※参加費: 1,500円(3回分) 一括郵便振込
 ※申込: 往復はがき(1枚につき1名)に①氏名 ②住所 ③電話記入④Eメール(PCのみ・あれば)
 ※9月17日(木)必着
 各講座とも、事前資料あり。(1回毎の申込は不可)

第1回 10/4 (日)	我和琵琶情 ～私と琵琶の絆～ 講師: 王 天舒	幼いころ、母親から琵琶の手習いを受けた講師が、琵琶の歴史や文化などを通じて中国の音楽文化の一面を紹介します。 (講師による琵琶演奏あり)
第2回 10/18 (日)	中国のお茶 ～ウーロン茶の祖国から～ 講師: 林 笛	ウーロン茶の生産地・福建省出身の講師から、中国のお茶に関するお話を伺います。お茶をテーマにした、日中文化比較も興味深い内容です。
第3回 11/8 (日)	「文化」の衝突 ～社員食堂での出来事～ 講師: 孫 勝徳	講師が実際に体験した、日本の企業の社員食堂での逸話を通じて、日本の文化や日本人について考えたことをお話いただきます。日本社会の中での葛藤とは?

第15回カナガワビエンナーレ国際児童画展 in カワサキ (入場無料)

《日時》11月19日(木)～25日(水) (9時～21時) 《場所》川崎市国際交流センター1F 展示ロビー

今回(第15回展)は、84の国と1地域、神奈川県から合計20,723点もの応募があり、その中から選ばれた大賞3点をはじめとする520点の入賞作品が神奈川県下を巡回します。川崎市国際交流センターでは、大賞と川崎市在住の子どもたちの入賞作品を中心に展示予定。いずれも個性豊かな力作で、国や民族の違い、言葉の違いを越えて新鮮な感動を与えてくれます。

子どもたちの作品の背景にある、文化や価値観の多様さをご覧ください。

(左) 大賞作品「愛する地球」
(タン・リーチアン、14歳男、マレーシア)

(右) 大賞作品「身だしなみ」
(ゲンチェヴァ・ゲルガナ・ディミトロヴァ
9歳女、ブルガリア共和国)



※今年も、川崎在住の子どもたちの入賞作品が、11作品もあります！ぜひ見に来てください。

📖 日本語による国際理解講座 (予告) 📖

■ 日程: 11月、12月の木曜日 (午前10時～12時) ♪ 申込は9月末開始予定 ♪

■ テーマ: 「世界の子育て」(乳幼児編) 3回シリーズ 定員40名

世界各国出身の子育て世代、子育て経験者から、それぞれの国の子育てや子どもに対する考え方などを聞いてみませんか。少子化の日本の現状とどこが違う？何が一緒？今の日本の子育ての参考や、世界的な傾向を知るきっかけになることがあるかもしれません。(託児あり・1歳～就学前まで。定員10名。)



図書・資料室から

「その英語、ネイティブにはこう聞こえます。SELECT」

デビット・セイン、小池信孝 著 / 主婦の友社 発行 / 2009年 3月10日発行
222ページ 縦15センチ×横11センチ

日本人が外国人と話す英語・・・中学、高校と学校の授業で習ってきた文法重視の英語で話すと、たとえ文法上は正しくても、話し相手のネイティブに、こちらの思いが伝わらないことが間々あるようです。

著者によれば、「ありがとうございます」は、通常「Thank you very much.」と日本人は言いますが、言い方によっては、相手の外国人には「どうもありがとうございましたね！」と皮肉っぽく取られることがあり、フレンドリーな間柄では、「I really appreciate all your help.」や「thanks a lot.」がよく使われるフレーズだそうです。他にも「Good bye!」はイントネーションによっては、捨てぜりふで「あばよ!」のように聞こえるので、「See you!」の方がよりフレンドリーな表現ではないか など。

文法だけの知識に縛られ英語を話すと、そこに込められている話者の気持ちが、相手に伝わらないことがあるようです。著者は文法に縛られず、ネイティブとできるだけ会話し交流していく中で、話し手の気持ちが伝わる会話を目指すべきだとしています。本書はそんなあなたに、たくさんのヒントを与えてくれる一冊でしょう。これから秋に向けて、少し違った角度からあなたの英語力を見つめ直してみませんか。

川崎市国際交流センター・2階 / 資料室内の閲覧のみ / 館外貸し出しはしていません。

★9月と10月の施設点検日は次の通りです。

月日	施設利用	受付業務 および ふれあいネット	協会業務	レストラン	ホテル
9月28日(月)	×	○ (9:00 ~ 18:00)	○	×	○
10月26日(月)	×	○ (9:00 ~ 18:00)	○	×	○

(発行) 川崎市国際交流センター

〒211-0033 神奈川県川崎市中原区木月祇園町2-2

<http://www.kian.or.jp/kic/> E-mail: kiankawasaki@kian.or.jp

東急東横線・目黒線 元住吉駅下車 西口より徒歩10分

電話 044-435-7000

FAX 044-435-7010